

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

北海道の 印刷

2012

4

第671号(平成24年4月)

発行/平成24年4月10日

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目

TEL(011)562-6070

FAX(011)562-6072

URL: <http://www.print.or.jp>

E-mail: info@print.or.jp

2012全日本印刷文化典北海道大会—3~5

第35回全国印刷メディア協議会—6

平成24年2月全印工連用紙価格調査集計結果—7

2010年印刷・同関連業出荷額—8

2011年日本の総広告費—9

2011年出版推定出荷額—10

業界のうごき—10

2012全日本印刷文化典北海道大会 9月20日(木)~22日(土)



登別温泉地獄谷



2012 全日本印刷文化典北海道大会

「北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道」

全国大会考

2012全日本印刷文化典北海道大会総務・財政委員長 **飯村 俊幸**

飯村印刷株式会社代表取締役社長

今年9月、15年の歳月を経て北海道で再び全国大会が開催される。振り返ってみるとたった15年の間に印刷業界もそれを取り巻く社会も予想を遥かに超えた激しい変化に晒された。我々は夢想だにしなかった未経験の怒濤のような新局面にたじろぎ戸惑うばかりであった。

15年前の印刷業界は、その市場規模や将来展望に於いて隆々たるものがあった。勿論日本経済自体もグローバル化を旗印に世界を席卷出来るものと国民の誰もが一片の疑いも持っていなかったであろう。しかし、複合的な変化の潮流が圧倒的な早さで我が国を襲った。生産の拠点は発展途上国に大きくシフトし、日本は空洞化した。先端テクノロジーの面でも技術立国としての自信も揺らぐほど他国の追い上げは年々凄まじさを増してきている。遂にはGDPさえ中国の後塵を拝してしまった。加えて人口減と少子高齢化による国力の衰退は目前に迫っている。まさにどうするニッポン！迫り来る国難に危機感の極み！、それが世間の偽らざる今の実感ではないだろうか。頭をうなだれ悲観的にならざるを得ないが、必ずしも悲観一辺倒になることもない。なぜならば一つの事象は必ず陰陽両面を具有しているからである。悪いことばかり100%ということは有り得ないのだ。「人間万事塞翁が馬」という諺もあるではないか。

さて、15年前の大会の標語は「デジタル・ドリーム」である。今となっては懐かしい標語になってしまった。デジタル・ドリームは遥か昔に叶えられ、現実には想像を絶する凄いスピードでその先へ跳躍した。デジタル化を享受し、その利便性とスピードに酔いしれた人類にそれが本当の豊かさをもたらしたか否かは別にしても。

今回の大会の標語は「北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道」。ソリューション・プロバイダーは直訳すると「解決策提供者」。ユーザーの様々な悩みや課題を種々の手法を駆使して手助けするというのが主旨である。良い意味でしたたかな諸賢は昔からとうにやっている事で何も新しい理念ではない。本業の印刷機で紙に印刷するという部分のボリュームの先細り感に拍車がかかる今、我々は次々と新しい付加価値を取り込んで何としても生き残っていかねばならない。そこに強く力点を置いた標語である。

いま全印工連には約6,000社の組合員がいる。地域特性も規模も仕事内容も千差万別だが、厳しい現実を前に思い描く悩みはほぼ共通している。この大会で全国の仲間と直面する課題を今一度しっかり認識し、素晴らしい明日の業界建設のためのソリューション・プロバイダーとして共々知恵を絞りたいものである。

2012全日本印刷文化典北海道大会

テーマ

「北の大地から始まる、ソリュー

9月20日(木)

7:30 受付

記念ゴルフ大会

会場 札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース

(北広島市輪厚77 電話011-376-2221)

8:00 スタート

14:30 表彰式



札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース
17番ホール

9月21日(金)

13:00 受付

記念式典

会場 札幌パークホテル

3F パークホール

(札幌市中央区南10条西3丁目)

電話011-511-3131)



メイン会場の札幌パークホテル

15:00 全印工連メッセージ

会場 札幌パークホテル 3F パークホール

16:30 記念講演会

会場 札幌パークホテル 3F エメラルド

講師 夕張市長 鈴木直道氏

テーマ 「やらなければゼロ!

新たな可能性を創造するまちへ!」



鈴木直道氏

18:30 記念パーティー

会場 札幌パークホテル B1F パークプラザ

シヨン・プロバイダーへの道」

9月22日(土)

8:00 全印工連理事長会

会 場 札幌パークホテル 1 F 光華

8:00 全国事務局研修会

会 場 札幌パークホテル 3 F エメラルド

9:30 全印工連フォーラム

会 場 札幌パークホテル 3 F パークホール

12:30 エキスカーション

半日コース（札幌・小樽メルヘンコース）

1泊2日コース（人気の登別温泉に泊まる美味しい2日間）

2泊3日コース（絶景大雪山系と雄大十勝平野温泉三昧3日間）

主催 全日本印刷工業組合連合会
北海道印刷工業組合

後援 経済産業省

北海道

札幌市

社団法人日本印刷産業連合会

北海道中小企業団体中央会

社団法人北海道商工会議所連合会

北海道商工会連合会

北海道印刷関連業協議会

社団法人北海道観光振興機構

一般社団法人北海道IT推進協会

北海道新聞社

朝日新聞北海道支社

毎日新聞北海道支社

読売新聞北海道支社

日本経済新聞社札幌支社

北海道放送株式会社

札幌テレビ放送株式会社

北海道文化放送株式会社

北海道テレビ放送株式会社

株式会社テレビ北海道

協賛 株式会社日本印刷新聞社

株式会社印刷出版研究所

株式会社新聞之新聞社

印刷時報株式会社

株式会社印刷之世界社

ニュープリンティング株式会社

株式会社印刷学会出版部

協力 全国印刷工業健康保険組合

北海道印刷工業厚生年金基金

第35回全国印刷メディア協議会

第35回全国印刷メディア協議会が、2月9日午後2時30分から東京都豊島区のホテルメトロポリタンで開催された。

『『デジタル時代の印刷力』～紙の復権 印刷の逆襲～』をテーマに、東日本大震災の発生後、テレビやインターネットにない役割や価値が再認識された紙メディアについて、紙の良さや印刷の素晴らしさ、電子メディアにはない紙メディアの優位性などを見直し、顧客が求める印刷の価値を新たに創造するには何が必要かについて3つの講演が行われた。

最初に、萩原誠議長（萩原印刷・東京）が「日本に100年以上の歴史を持つ印刷会社が200社以上ある。現在のように環境が激変し、先行き不透明な時代、我々も積み重ねてきた技術、経験、知識を原点に立ち返り見直すことで新たな挑戦を始める必要がある。これからの社会に必要とされる印刷を考えていきたい」と述べた。

講演会は、水野秀也氏（全印工連印刷産業ビジョン研究会副委員長）が「クロスリンクする印刷メディアと電子メディアが印刷価値を新たに創造する」をテーマに、岩野和生氏（日本アイ・ビー・エム(株)執行役員）が「情報技術の進展からみた印刷メディア」をテーマに、阿部野耕一氏（特定非営利活動法人クリーンプリント理事長）が「ペーパーメディアがサステナブルであるために」をテーマに行われた。

水野講師は、印刷メディアが訴えていくべき価値の例として「持続可能性と有用性」、「森林認証紙の活用をはじめとした環境保護」、「誰でも同じ情報を安全で確実に伝える有効性」の3点を挙げ、「電子メディアも印刷メディアも消費者の生活を豊かにするためのツールであり、印刷業に関わる人がまず自信を持って印刷メ



ディアの良さを発信し、子供からお年寄りまで幅広い消費者層に対して宣伝していこう」と呼びかけた。

岩野講師は、紙と電子のそれぞれの役割を解説し、紙はメディアに落とし込んだ後に比較的長期にわたり利用可能であり、人の経験、知識、文化に作用するメディアと定義し、電子メディアは大量に情報が溢れている状況から1つの情報が持つ寿命は短いが影響力が強いとした。「紙と電子ではその特性に極端な違いがある。双方の特徴を活かした調和や方法論を探るべきだが、まだ互いの領域が解っていない。森羅万象がネットワークを作り、リアルタイムかつダイナミックに活動している時代、企業や業界はクラウドで共通基盤を作り独自の強みを構築しよう試みている」と説明した。

阿部野講師は、環境に配慮した印刷の考え方として「紙を無駄と断じて削減の方向に持っていくのではなく、関係者に多くのメリットを与える紙の役割を考えていくべきだ」とし、数字的根拠に基づいた印刷メディアの優位性を説明した。

平成24年2月分 全印工連用紙価格調査集計結果まとまる

全印工連の平成24年2月分用の紙価格調査集計結果がこのほどまとまった。
この調査は、用紙価格の推移と傾向を把握し、

組合員への参考資料として提供することを目的に実施しており、今年是全国の組合員企業全社にアンケートを行い実施した。

平成24年2月 国産紙の購入価格(地域別)

(円)

| 品 種 | | 1回の購入量 | 北海道 | 全 国 平 均 | 品 種 | | 1回の購入量 | 北海道 | 全 国 平 均 |
|-----------------------------|-------------|--|----------|------------|---------------------------------------|--------------------------|--------------|----------|------------|
| 上 質 紙 | 平 判 | 1～5連未満 | 192 | 157 | コ ー ト A3(上質軽量) | 巻 取 | 10～30連未満 | X | 128 |
| | | 5～30連未満 | 171 | 148 | | | 30連超 | X | 127 |
| | | 30連超 | 164 | 140 | | 平 判 | 1～5連未満 | 180 | 159 |
| | 巻 取 | 10～30連未満 | 141 | 136 | | | 5～30連未満 | 172 | 153 |
| | | 30連超 | X | 126 | | | 30連超 | 161 | 149 |
| | | 再生 上 質 紙 | 平 判 | 1～5連未満 | | | 200 | 160 | 巻 取 |
| 5～30連未満 | 174 | | | 152 | 30連超 | X | 116 | | |
| 30連超 | 164 | | | 145 | 再 生 コ ー ト A3(上質軽量) | 平 判 | 1～5連未満 | 181 | |
| 巻 取 | 10～30連未満 | X | 133 | 5～30連未満 | | | 176 | 158 | |
| | 30連超 | X | 128 | 30連超 | | 166 | 154 | | |
| | 中 質 紙 | 平 判 | 1～5連未満 | 212 | | 188 | 巻 取 | 10～30連未満 | X |
| 5～30連未満 | | | 213 | 180 | 30連超 | X | | 124 | |
| 30連超 | | | 192 | 176 | 微 塗 工 紙 | 平 判 | | 1～5連未満 | 194 |
| 巻 取 | | 10～30連未満 | X | 148 | | | 5～30連未満 | 193 | 162 |
| | | 30連超 | X | 144 | | | 30連超 | X | 153 |
| | | (テ ロ ス ・ マ ット) A2 コ ー ト | 平 判 | 1～5連未満 | 201 | 164 | 巻 取 | 10～30連未満 | X |
| 5～30連未満 | 182 | | | 156 | 30連超 | X | | 118 | |
| 30連超 | 170 | | | 150 | 白 ボ ー ル コ ー ト | 1 t まで | | 154 | 150 |
| 再生 コ ー ト A 2 | 平 判 | | 10～30連未満 | X | | 127 | 1 t 超～5 t まで | X | 138 |
| | | | 30連超 | X | | 124 | 5 t 超 | X | 156 |
| | | | 1～5連未満 | 196 | 165 | ※ Xは回答数が2社以下のため表記から除外した。 | | | |
| 巻 取 | 5～30連未満 | 187 | 158 | | | | | | |
| | 30連超 | 172 | 152 | | | | | | |

印刷出荷額 6兆446億円に上方修正

2010年工業統計確報

経済産業省が、1月25日に発表した2010年工業統計確報（従業者4人以上）によると、印刷・同関連業の製造品出荷額は前年比2.1%減の6兆446億円と6兆円台を確保した。産業分類別では「紙に対するオフセット印刷業」は4.4%減の3兆9,941億円、「紙に対するオフセット印刷以外の印刷業」と「紙以外の印刷業」は前年を上回った。

昨年9月30日発表の速報（本紙平成24年1月号既報）では、印刷・同関連業の出荷額は前年比3.4%減の5兆9,610億円と6兆円を割り込んでいた。事業所数も速報の6.5%減から確報で

は6.3%減の13,914事業所、従業者数も4.3%減から3.2%減の299,038人といずれも上方修正された。

2010年工業統計確報（4人以上の事業所）

| | 事業所数 | 従業者数 (人) | 製造品出荷額 (百万円) |
|----------------------|--------|-------------|-----------------|
| 印刷・同関連業 | 13,914 | 299,038 | 6,044,642 |
| オフセット印刷業（紙に対するもの） | 8,423 | 190,312 | 3,994,129 |
| オフセット以外の印刷業（紙に対するもの） | 854 | 18,224 | 464,306 |
| 紙以外の印刷業 | 1,649 | 38,511 | 946,843 |
| 製版業 | 934 | 22,489 | 370,046 |
| 製本業 | 1,085 | 17,010 | 152,948 |
| 印刷物加工業 | 888 | 10,925 | 102,278 |
| 印刷関連サービス業 | 81 | 1,567 | 14,092 |

2011年日本の総広告費 5兆7,096億円

株式会社電通は、このほど、2011年の全国の総広告費と媒体別、業種別
 広告費を推定した「2011年日本の広告費」を発表した。

2011年1月～12月の日本の総広告費は5兆7,096億円（前年比97.7%）であった。

総広告費は、2004年に景気回復基調とデジタル家電などの普及を背景に4年振りに増加した後、2005年（前年比102.9%）、2006年（同101.7%）、2007年（同101.1%）と増加を続けてきた。

しかし、2008年の米国金融危機に端を発した世界同時不況を背景に減少に転じ、2008年（同95.3%）、2009年（同88.5%）、2010年（同98.7%）と連続して前年割れとなっている。

2011年は東日本大震災、欧州金融危機、急激な円高、タイの洪水被害による製造業の生産流通体制の混乱などが日本経済を直撃し、特に東日本大震災のあとに起きた広告自粛ムードが広告費の減少に繋がり、総広告費は5兆7,096億円（前年比97.7%）と前年を割り込んだ。ただし、年後半は、10～12月期のマスコミ4媒体の広告費が好調だった2010年の水準をさらに上回るなど広告出稿が活性化した。

媒体別にみると、「テレビ広告費」（前年比99.5%）、「新聞広告費」（同93.7%）、「雑誌広告費」

（93.0%）「ラジオ広告費」（同96.0%）といずれも減少し、「マスコミ4媒体広告費」は同97.4%と前年を下回った。また、「プロモーションメディア広告費」も同95.4%と前年を下回った。一方、地デジ化に際しての3波対応テレビの普及で「衛生メディア関連広告費」（同113.6%）は2桁の伸びを示した。「インターネット広告費」（同104.1%）はソーシャルメディア活用などの新手法が増えた結果、引き続き増加となった。

業種別（マスコミ4媒体）では、「ファッション・アクセサリ」（婦人服、バックなど）、「流通・小売業」（通信販売、コンビニエンスストアなど）、「情報・通信」（スマートフォン関連、WEBコンテンツなど）、「官公庁・団体」（ACジャパンなど）といった21業種中5業種が堅調で前年を上回った。減少したのは「飲料・嗜好品」（国産ビール、焼酎など）、「家電・AV機器」（液晶テレビ、プラズマテレビなど）の16業種であった。

日本の広告費

| 媒体 | 広告費 | 広告費(億円) | | | 前年比(%) | | 構成比(%) | | |
|------|-----------|------------------|----------------|----------------|------------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| | | 2009年 (平成21年) | 2010年 (22年) | 2011年 (23年) | 2010年 (平成22年) | 2011年 (23年) | 2009年 (平成21年) | 2010年 (22年) | 2011年 (23年) |
| 総 | 広告費 | 59,222 | 58,427 | 57,096 | 98.7 | 97.7 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| マスコミ | 四媒体広告費 | 28,282 | 27,749 | 27,016 | 98.1 | 97.4 | 47.8 | 47.5 | 47.3 |
| 新 | 聞 | 6,739 | 6,396 | 5,990 | 94.9 | 93.7 | 11.4 | 11.0 | 10.5 |
| 雑 | 誌 | 3,034 | 2,733 | 2,542 | 90.1 | 93.0 | 5.1 | 4.7 | 4.5 |
| ラ | ジ | 1,370 | 1,299 | 1,247 | 94.8 | 96.0 | 2.3 | 2.2 | 2.2 |
| テ | レ | 17,139 | 17,321 | 17,237 | 101.1 | 99.5 | 29.0 | 29.6 | 30.2 |
| 衛星 | メディア関連広告費 | 709 | 784 | 891 | 110.6 | 113.6 | 1.2 | 1.3 | 1.6 |
| イン | ター | 7,069 | 7,747 | 8,062 | 109.6 | 104.1 | 11.9 | 13.3 | 14.1 |
| 媒 | 体 | 5,448 | 6,077 | 6,189 | 111.5 | 101.8 | 9.2 | 10.4 | 10.8 |
| 廣 | 告 | 1,621 | 1,670 | 1,873 | 103.0 | 112.2 | 2.7 | 2.9 | 3.3 |
| プロ | モーション | 23,162 | 22,147 | 21,127 | 95.6 | 95.4 | 39.1 | 37.9 | 37.0 |
| 屋 | 外 | 3,218 | 3,095 | 2,885 | 96.2 | 93.2 | 5.4 | 5.3 | 5.1 |
| 交 | 通 | 2,045 | 1,922 | 1,900 | 94.0 | 98.9 | 3.4 | 3.3 | 3.3 |
| 折 | 込 | 5,444 | 5,279 | 5,061 | 97.0 | 95.9 | 9.2 | 9.0 | 8.9 |
| D | M | 4,198 | 4,075 | 3,910 | 97.1 | 96.0 | 7.1 | 7.0 | 6.8 |
| フ | リー | 2,881 | 2,640 | 2,550 | 91.6 | 96.6 | 4.9 | 4.5 | 4.5 |
| フ | リー | 1,837 | 1,840 | 1,832 | 100.2 | 99.6 | 3.1 | 3.2 | 3.2 |
| P | O | 764 | 662 | 583 | 86.6 | 88.1 | 1.3 | 1.1 | 1.0 |
| 電 | 話 | 764 | 662 | 583 | 86.6 | 88.1 | 1.3 | 1.1 | 1.0 |
| 展 | 示 | 2,775 | 2,634 | 2,406 | 94.9 | 91.3 | 4.7 | 4.5 | 4.2 |

2011年出版推定出荷額 1兆8,042億円

出版科学研究所が発表した2011年の出版物の推定販売額は前年比3.8%減の1兆8,042億円であった。書籍が0.2%減の8,198億円、雑誌が6.5%減の9,844億円。

出版科学研究所は、「先行き不安な情勢にあって、ひとりひとりのニーズにきめ細かく応えら

れる書籍の方に読者の関心が向ったため書籍は前年並みを保った。対して雑誌は時代の気分を映しながら買う商品だけに東日本大震災の影響をより受けた格好で、1兆円を割り込み過去最大の落ち込みを示した」としている。

出版物推定出荷額推移

(単位：億円)

| 年 | 書 籍 | | 雑 誌 | | 合 計 | |
|------|-------|------|--------|------|--------|------|
| | 金 額 | 前年比 | 金 額 | 前年比 | 金 額 | 前年比 |
| 2000 | 9,706 | ▲2.3 | 14,261 | ▲2.8 | 23,966 | ▲2.6 |
| 2001 | 9,456 | ▲2.6 | 13,794 | ▲3.3 | 23,250 | ▲3.0 |
| 2002 | 9,490 | 0.4 | 13,616 | ▲1.3 | 23,105 | ▲0.6 |
| 2003 | 9,056 | ▲4.6 | 13,222 | ▲2.9 | 22,278 | ▲3.6 |
| 2004 | 9,429 | 4.1 | 12,998 | ▲1.7 | 22,428 | 0.7 |
| 2005 | 9,197 | ▲2.5 | 12,767 | ▲1.8 | 21,964 | ▲2.1 |
| 2006 | 9,326 | 1.4 | 12,200 | ▲4.4 | 21,525 | ▲2.0 |
| 2007 | 9,026 | ▲3.2 | 11,827 | ▲3.1 | 20,853 | ▲3.1 |
| 2008 | 8,878 | ▲1.6 | 11,299 | ▲4.5 | 20,177 | ▲3.2 |
| 2009 | 8,492 | ▲4.4 | 10,864 | ▲3.9 | 19,356 | ▲4.1 |
| 2010 | 8,213 | ▲3.3 | 10,535 | ▲3.0 | 18,748 | ▲3.1 |
| 2011 | 8,198 | ▲0.2 | 9,844 | ▲6.6 | 18,042 | ▲3.8 |

資料：出版科学研究所

業界のうごき

▶リョービマジクス(株)がリョービ(株)と合併し、リョービ(株)グラフィックシステム本部

リョービマジクス株式会社は、このたび、リョービ株式会社に合併され、リョービ株式会社グラフィックシステム本部となった。

これによりリョービマジクス株式会社札幌営業所(札幌市豊平区平岸7条14丁目3番48号)は、リョービ株式会社グラフィックシステム本

部東日本ブロック札幌(藤田一憲北海道エリア長)となった。

なお、住所・電話番号・FAX番号は従来どおり。

▶(有)小日山エンジニアが(有)K・S・Eに社名変更し、社長に酒井博幸氏

有限会社小日山エンジニア(札幌市西区発寒9条11丁目8番12号)は、このたび、社名を有限会社K・S・Eに変更し、小日山敏夫社長が取締役会長となり、新しく代表取締役社長に酒井博幸氏が就任した。